



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第 64 号

2009.5.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」
の名前をつけています。

も く じ

おしらせ

- ー開館しました
- ー『苅尾 17 号』の原稿を募集
- ー山焼き後の雲月山観察会の中止
- ースタッフ紹介

活動報告

- ーカスミサンショウウオの産卵調査

観察会案内

- ー大潰山の春植物観察会
- ーブナ林の野鳥観察会

お し ら せ

●開館しました

高原の自然館は 4 月 25 日より開館しました。今シーズンも自然の窓口になるよう、スタッフ一同がんばります。よろしくおねがいします。

●『苅尾 17 号』の原稿を募集しています

西中国山地自然史研究会の会報『苅尾』の原稿を募集しています。内容は西中国山地の自然や動植物に関する情報や自然に関わる活動報告、自然賛などで、600～1600 字程度にまとめてください。今回は草原の特集を組む予定です。雲月山や千町原など、草原にまつわる記事があれば、ぜひご投稿ください。写真を大歓迎します。あなたのみつけた小さな発見を、会員のみなさんにも伝えてください。

●山焼き後の雲月山観察会の中止について

4 月 26 日に予定していた「山焼き後の雲月山観察会」は、悪天候のため、残念ながら今回の観察会は中止となりました。

●スタッフ紹介

高原の自然館のスタッフを紹介します。
学芸員：白川勝信
スタッフ：柳崎誠子、河野弥生、新保勇介

今年度より新しいスタッフも加わり、4 名での体制となりました。自然に関する疑問や質問などありましたら、お気軽に声をおかけ下さい。自然館のカウンターにてお待ちしております。

観 察 会 報 告

● カスミサンショウウオの産卵調査

開催日時:2009年4月29日(水)9:30

講師:内藤順一

霧ヶ谷湿原に導水路が張り巡らされる工事が終了して、はじめてのモニタリングです。昨年の調査では、補助導水路にたくさんの卵塊が見られました。また、カスミサンショウウオも湿原内に産卵していました。さて、今年はどうでしょうか？高原の自然館でサンショウウオについてのレクチャーを受けた後、3人のキッズを含む10人で調査に向かいました。

はじめに、「カスミサンショウウオの産卵環境」を観察し、どのような場所に、どのような状態で産卵するのかを確認しました。このときに、卵塊を守る親も見ることができました。自然状態での産卵を確認した後は、いよいよ再生事業地での調査開始です。2班に分かれて、川の兩岸を上りながら、導水路の中に産み付けられた卵塊を探しました。今回はGPSを使って位置を記録したので、調査票への記入が楽にできました。お昼までに調査した、約1/3程度の範囲では、ヤマアカガエルの幼生とアカガエルの卵塊が多く見られ、アマガエルも産卵していました。ただ、去年は見られたヒキガエルや、水路内のカスミサンショウウオの卵塊は確認できませんでした。ちなみに、午後から内藤先生、スタッフなど数人で行った補足調査では、ヒキガエルの幼生が確認できました。カスミサンショウウオも、最整地内にできた湿地に、本来の姿で産卵していました。一昨年までならば排水升に落ちて無駄になっていたはずの個体が、再生事業によって、産卵場所を得たというのは嬉しい結果でした。参加した子供達にとってはミズカマキリやオオコオイムシを観察できたことが、卵塊が増えていることよりも嬉しかったようですが・・・

内藤先生からは、時間はかかるだろうが湿地内へのカスミサンショウウオ個体群の再生も可能だろうというコメントをいただきました。これから研究会でしっかりと見守っていきましょう。

[しらかわかつのぶ]

※写真を提供いただいた佐久間さん、山内さん、ありがとうございました。



卵塊を探しながら、カスミサンショウウオの産卵環境を観察する。



卵塊と親が見つかった。



恐る恐る触ってみる。



水路をくまなく探していく。



「カスミおったよー」の内藤先生の声に向かう右岸チーム。



産み付けられたばかりのニホンアカガエルの卵塊。



最後に各班の状況を報告した。報告中もヤマカガシに見入る子ども達。



ヤマカガシがいたので、束の間、しっかり観察。

【みなさんの印象に残った物】

「カエルの卵，おたまじゃくしをたくさん見られたこと」「コオイムシ」「大量のおたまじゃくし。」「コオイムシ，ヤマカガシ」

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「やはり自然の中がいいです。天気も良く，とてもリフレッシュできました。」「再生事業地の今後が楽しみです。」「だいぶ水があふれる感じになってきて，今後が楽しみです。」「天気も良く，調査が楽しかった。カスミの卵がなく残念。」

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳

作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

● 大潰山の春植物観察会

開催日時：2009年5月9日(土) 9:30

集合場所：大佐スキー場駐車場

講師：佐久間智子

準備：基本セット、お弁当

定員数：30名

参加費：一般=300円

賛助会員=100円

正会員・中学生以下=無料

特に山頂部のツツジ群落が見事な大潰山の観察会です。また色々な里山植物もみることができそうです。急な部分もありますが、距離的には歩きやすい山です。ゆっくりと観察しながら登りましょう。

● ブナ林の野鳥観察会

開催日時：2009年5月24日(日) 5:00

集合場所：臥竜山雪霊水前

講師：上野吉雄

準備：基本セット、双眼鏡

定員数：30名

参加費：一般=300円

賛助会員=100円

正会員・中学生以下=無料

苅尾山の早朝は鳥たちのさえずりでにぎやかです。去年は15種類もの鳥の鳴き声をきくことができました。憧れの鳥、アカショウビンにも会えるかも。

● 2009年度のイベント計画について

2009年度のイベント計画をお知らせします。なお、日程は変更になる場合がありますので、毎回の苅尾電波塔にご注意ください。

2009年

6月 13日 龍頭山の野鳥観察会

14日 聖・高岳の植物観察会

20日 苅尾の昆虫観察会

27日 霧ヶ谷湿原の植生モニタリング 夏

7月 5日 霧ヶ谷湿原 夏のいきもの観察会

26日 こども観察会

8月 8日 可愛川の水生生物観察会

9日 カワシヅユガイの観察会

9月 12日 霧ヶ谷湿原 秋のいきもの観察会

13日 霧ヶ谷湿原の植生モニタリング 秋

10月 10日 サツキマスの観察会

11日 キノコ観察会

11月 7日 ゴギの産卵観察会

紅葉と冬芽の観察会

5日 八幡高原の野鳥の観察会

12月 未定 かんじき作り

2010年

1月 16日 冬を生きる動物たちの生態

2月 21日 雪原のトレッキング

3月 6日 早春のトレッキング

待ち遠しかった春を迎え、高原の自然館も開館しました。新年度が始まり、自然館の中の展示や、ホームページの更新など頭の中にはやりたいことがいっぱいあります。外に目をやると、日に日に芽吹きが進み、花が咲き始めています。今年はクロモジのかわいい新芽を見ることができました。どんどん外に出て、たくさん観察ができるシーズンになるといいなあ・・・(ここの)

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
(ご意見・ご感想もお待ちしております)

高原の自然館(こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

staff@shizenkan.info